

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成29年8月3日(2017.8.3)

【公開番号】特開2016-152147(P2016-152147A)

【公開日】平成28年8月22日(2016.8.22)

【年通号数】公開・登録公報2016-050

【出願番号】特願2015-29439(P2015-29439)

【国際特許分類】

H 01 R 4/24 (2006.01)

H 01 R 13/40 (2006.01)

【F I】

H 01 R 4/24

H 01 R 13/40 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月21日(2017.6.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

次に、本実施例の作用を説明する。ホルダ10と圧接端子金具30との組付けは、圧接端子金具30と電線41A, 41Bの圧接工程と並行して行われる。組付けに際しては、まず、第2ツイストペア線40Bを構成する2本の第2電線41Bを、下部振分けリブ20によって左右に振り分ける。このとき、燃り合わされている2本の第2電線41Bの隙間に、下部振分けリブ20の下端縁を割り込ませるようにする。そして、第2ツイストペア線40Bを上方へ移動させると、2本の第2電線41Bが、次第に幅広となる下部振分けリブ20の下部ガイド部21により、下部摺接面22に摺接しながら次第に互いの間隔を広げていく。そして、下部振分けリブ20を通過した2本の第2電線41Bは、夫々、取付け空間15内に収容される。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

この後は、第1ツイストペア線40Aを構成する2本の第1電線41Aを、左右に振り分けながら、2つの圧接部34に圧接する。このとき、2本の第1電線41Aの隙間に上部振分けリブ17の上端縁を割り込ませるようにする。そして、第1ツイストペア線40Aを下方へ移動させると、図4に示すように、2本の第1電線41Aが、次第に幅広となる上部振分けリブ17の上部ガイド部18により、上部摺接面19に摺接しながら次第に互いの間隔を広げていく。そして、上部振分けリブ17を通過した2本の第1電線41Aは、夫々、取付け空間15内に収容される。